

LGBTという言葉聞いたことがありますか？

L
G
B
T

Lesbian レズビアン
同性を愛する女性

Gay ゲイ
同性を愛する男性

Bisexual バイセクシュアル
性に関係なく人を愛する人

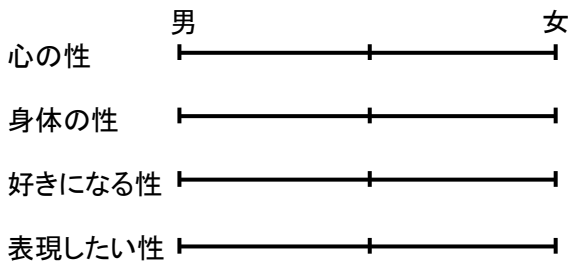
Transgender トランスジェンダー
身体の性と心の性が一致しない人



LGBTという言葉は、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつです。また、LGBTの権利を求める象徴として、「レインボー（6色）」が使われており、これは、セクシュアリティの多様性を象徴するものです。

性はグラデーション

性は「男」、「女」の2つだけでなく、さまざまな性的指向（好きになる対象の性別）と性自認（自覚する性別）があります。多様性を認めることが重要です。



ある民間の調査によると、日本では人口の約5〜8%、13人に1人がLGBTであるといわれています。これは学校生活に当てはめると、40人クラスに3人の割合となり、決して少ないとはいえない数字です。しかし、「私の周りにはそういった人はいない」、「テレビでは見たことあるけど、今まで会ったことはない」という人が多く存在します。

性の問題は、自分自身を語るうえで欠かせない、とても重要な問題です。しかし社会に存在する差別や偏見から、カミングアウトすることに不安を感じ、隠さざるをえない状況があります。

「いない」のではなく
「見えていない」だけ

性の表現は多様です。先にあげた表への表現方法をとってみても人によってさまざまです。そして、性自認は常に揺らぐものであり、一度自覚したからといって固定するものではありません。自分自身も周囲も決め付けることはせず、ありのままの個人を認め合うことが大切です。

アライとして今日からできること

アライ（ALLY）とは、LGBTの「味方・理解者・支援者」を意味します。アライになる第一歩は、「LGBTについて正しく知る」ことです。日常生活の何気ない会話の中で不用意に相手を傷付けてしまっている場合もあります。LGBTに関する基本的な知識を持ち得たうえで、まずは身近なことから心がけてみましょう。



2017年10月7日、大阪市北区扇町公園で「レインボーフェスタ2017」が開催されました。「パレード」、「ステージ」、「ブース」の3つの催しがあり、4700人が参加しました。

私たちは、誰もが自分らしく生きていく権利を持っています。一人ひとりがLGBTについて正しく理解し、全ての人が「性」に関係なく、自分らしく生きていくことができる社会をつくるために、みんなで考えましょう。